

第5次浦臼町総合振興計画策定のための
町民アンケート調査結果報告書

令和6年1月

浦 臼 町

目次

| | | |
|-----|---------------------|----|
| 1 | 調査の概要と回答者の属性 | 1 |
| 1 | 調査の概要 | 1 |
| (1) | 調査目的 | 1 |
| (2) | 調査対象・調査方法と回収結果 | 1 |
| (3) | 本報告書の留意事項 | 1 |
| 2 | 回答者の属性 | 2 |
| (1) | 性別 | 2 |
| (2) | 年齢 | 2 |
| (3) | 職業 | 2 |
| (4) | 居住地区 | 3 |
| 2 | 調査結果 | 4 |
| 1 | 町への愛着度と定住意向などについて | 4 |
| (1) | 町への愛着度 | 4 |
| (2) | 町の魅力 | 6 |
| (3) | 今後の定住意向 | 8 |
| (4) | 住みたくない主な理由 | 10 |
| 2 | 町の現状と今後の取り組みについて | 12 |
| (1) | 町の各環境に関する満足度 | 12 |
| (2) | 町の各環境に関する重要度 | 20 |
| (3) | 参考：満足度と重要度の相関 [優先度] | 27 |
| (4) | 今後のまちづくりの特色 | 30 |
| | 資料：調査票 | 33 |

1 調査の概要と回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、第5次浦臼町総合振興計画（令和7年度～令和16年度）の策定にあたって、町への愛着度や今後の定住意向をはじめ、町の各環境に関する満足度と重要度、今後のまちづくりの特色など、町民の意識やニーズを把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象・調査方法と回収結果

| 項目 | 内容 |
|-------|------------------------|
| 調査対象 | 15歳以上の町民 |
| 配布数 | 1,000 |
| 抽出法 | 無作為抽出 |
| 調査方法 | 郵送法とWEB方式の併用 |
| 調査時期 | 令和5年10月 |
| 有効回収数 | 376（うちWEB方式による有効回収数78） |
| 有効回収率 | 37.6% |

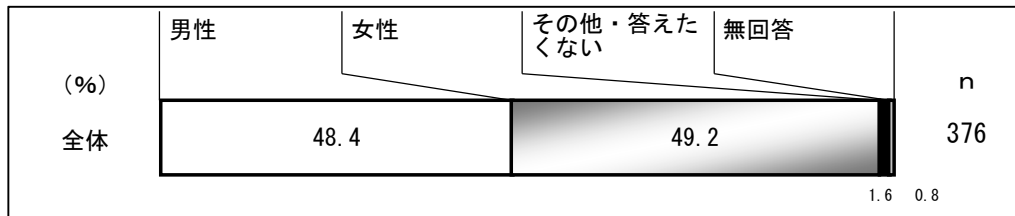
(3) 本報告書の留意事項

- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数（人数）は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問です。したがって、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④ 10代の回答者が少数（7人・1.9%）であったため、調査結果（P4以降）は、20代（12人・3.2%）と統合し、「10・20代」（19人・5.1%）として分析しています。ただし、これ以上統合することは望ましくなく、「10・20代」と「30代」の回答者数が少ない（19人・32人）ため、年齢別の分析結果には有意性の低いものも含まれていることに留意する必要があります。
- ⑤ 前回のアンケート調査の結果と比較している部分がありますが、前回のアンケート調査は、平成26年2月に、20歳以上の町民1,500人を対象に郵送法で実施したものであり、有効回収数は612、有効回収率は40.8%となっています。

2 回答者の属性

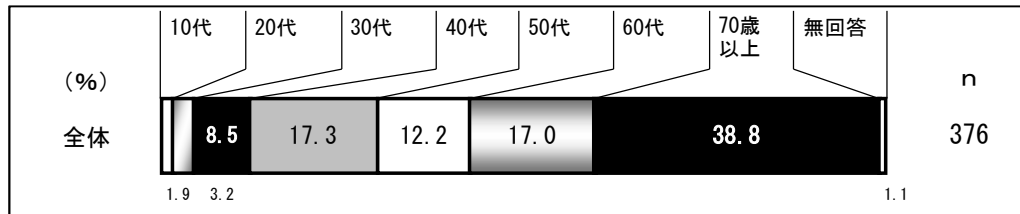
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が 49.2%、「男性」が 48.4%、「その他・答えた
くない」が 1.6%となっています。



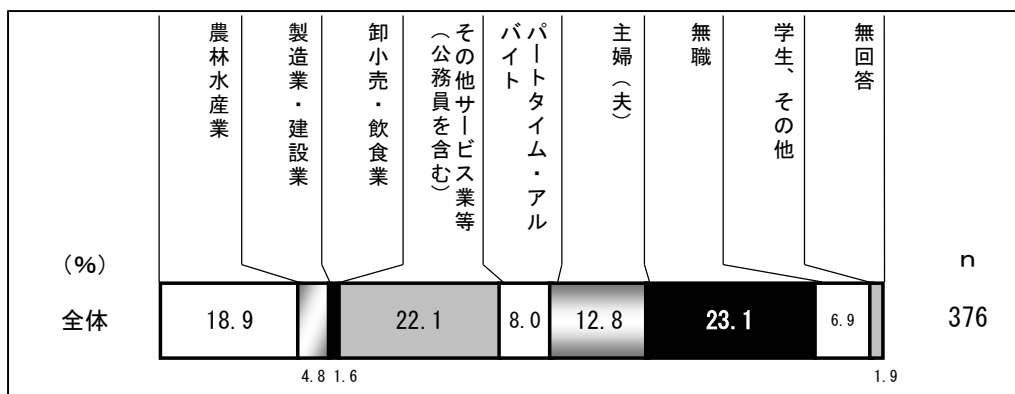
(2) 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が 38.8%、「40代」が 17.3%、「60代」が 17.0%、
「50代」が 12.2%、「30代」が 8.5%、「20代」が 3.2%、「10代」が 1.9%となっ
ています。



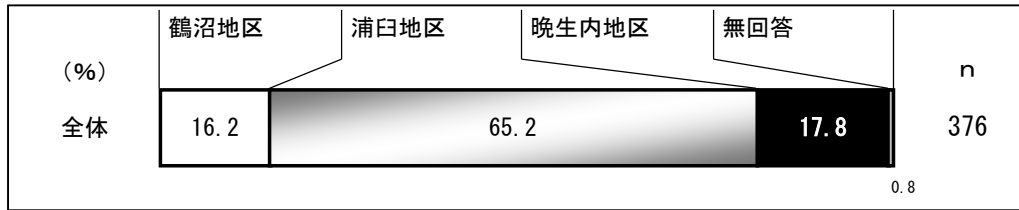
(3) 職業

回答者の職業は、「無職」が 23.1%、「その他サービス業等(公務員を含む)」が 22.1%、
「農林水産業」が 18.9%、「主婦(夫)」が 12.8%、「パートタイム・アルバイト」が
8.0%、「学生、その他」が 6.9%、「製造業・建設業」が 4.8%、「卸小売・飲食業」
が 1.6%となっています。



(4) 居住地区

回答者の居住地区は、「浦臼地区」が 65.2%、「晩生内地区」が 17.8%、「鶴沼地区」が 16.2%となっています。



2 調査結果

1 町への愛着度と定住意向などについて

(1) 町への愛着度

問2 あなたは、浦臼町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

● “愛着を感じている”が70.2%、“愛着を感じていない”が8.8%。

町民の町への愛着度を把握するため、「とても愛着を感じている」、「どちらかという
うと愛着を感じている」、「どちらともいえない」、「あまり愛着を感じていない」、「愛
着を感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかというと愛着を感じている」と答えた人が41.2%で最も多く、
次いで「とても愛着を感じている」が29.0%で、これらをあわせた“愛着を感じてい
る”という人が70.2%と約7割にのぼっています。これに対し、“愛着を感じていな
い”（「あまり愛着を感じていない」5.9%と「愛着を感じていない」2.9%の合計）と
いう人は8.8%と1割に満たず、町民の町への愛着度は高いといえます。

前回のアンケートと比較すると、“愛着を感じている”という率は今回の方が約3
ポイント高く、この10年間で、愛着度はわずかに高まっていることがうかがえます。

属性別で“愛着を感じている”という率をみると、性別では、男性（74.7%）が女
性（68.1%）を約7ポイント上回り、愛着度は男性の方がかなり高い（女性の方がか
なり低い）ことがうかがえます。

年齢別では、40代以上の層で比較的高く、30代以下の層で比較的低くなっており、
特に30代（56.3%）では6割に満たず目立って低くなっています。

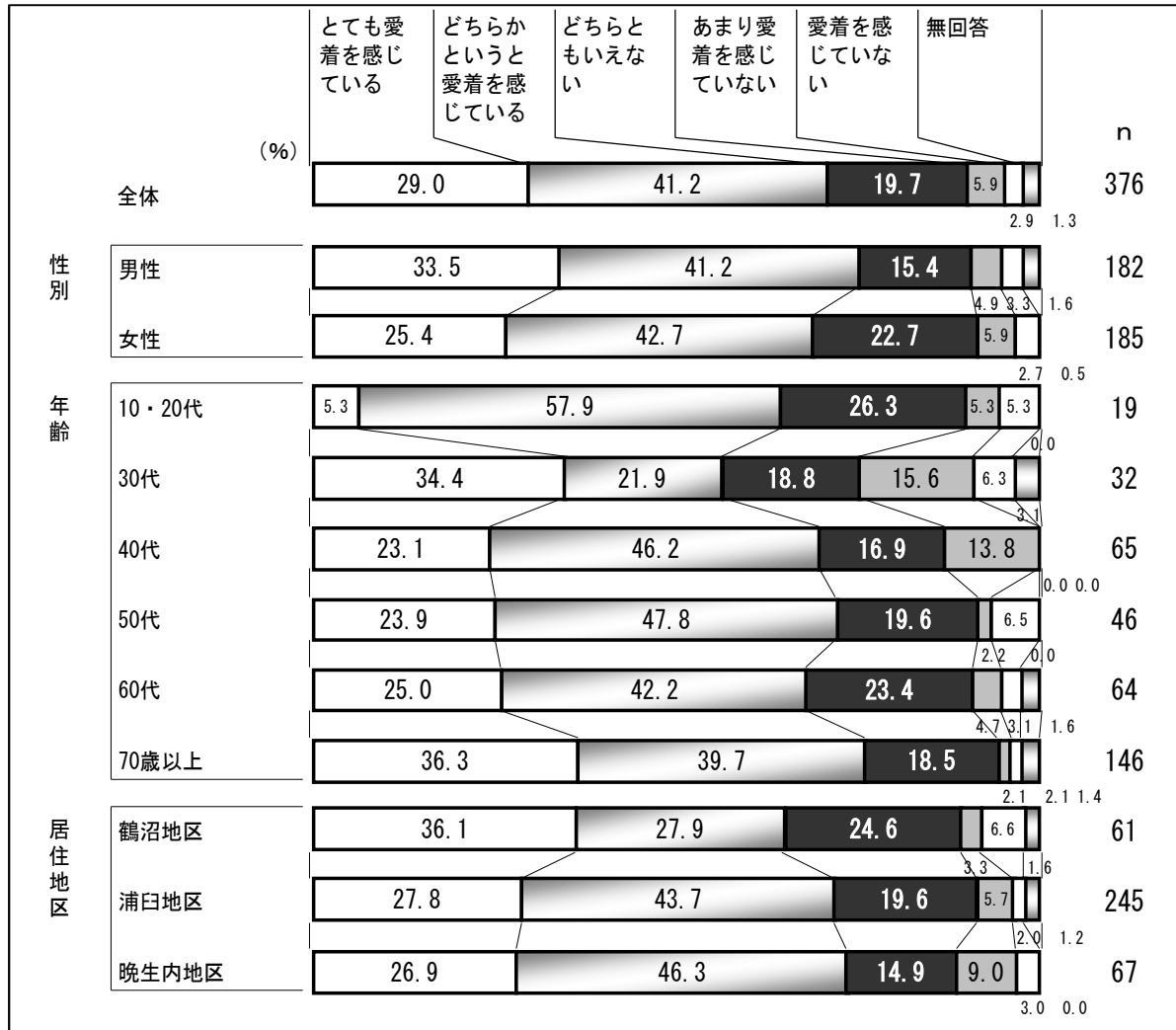
居住地区別では、高い順に、晩生内地区（73.2%）、浦臼地区（71.5%）、鶴沼地区
（64.0%）となっており、鶴沼地区の愛着度の低さが目立っています。

これらのことから、愛着度が低い女性や若年層、鶴沼地区の愛着度をいかに高めて
いくかが今後の課題の一つとしてあげられます。[図表1参照]

【比較】

前回アンケート “愛着を感じている”が67.6%、“愛着を感じていない”が10.6%。

図表1 町への愛着度（全体・性別・年齢・居住地区）



(2) 町の魅力

問3 あなたは、浦臼町はどのようなところが魅力だと思いますか。【複数回答】

- 「自然環境が豊かである」が他を引き離して第1位、次いで「人情味や地域の連帯感がある」、「生活環境施設が整っている」の順。

町の魅力については、「自然環境が豊かである」(63.8%)が他を引き離して第1位で、“自然の豊かさ”を町の魅力と感じている人が特に多くなっています。

これ以外では、「人情味や地域の連帯感がある」(23.9%)、「生活環境施設が整っている」(22.6%)、「子育て・教育環境が整っている」(20.7%)の順で、“人のあたたかさ”や“生活環境施設”、“子育て・教育環境”を町の魅力と感じる人も一定数にのぼっています。

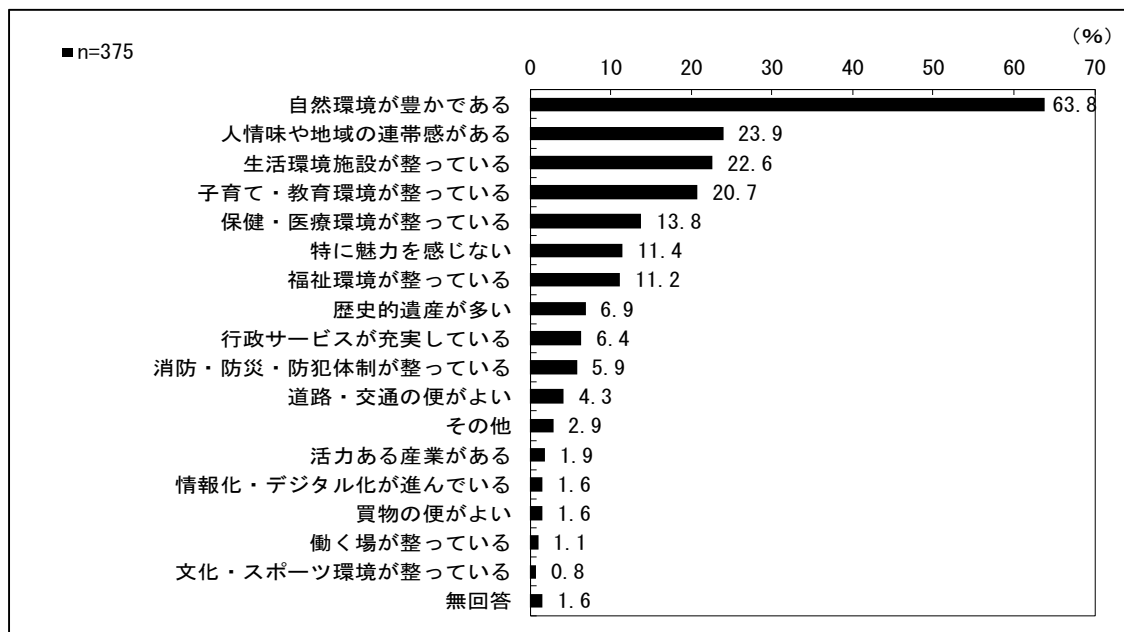
前回のアンケートと比較すると、上位3位までは内容・順位ともに同様に、“自然の豊かさ”を中心に、“人のあたたかさ”や“生活環境施設”を町の魅力ととらえる傾向は変わりませんが、第4位をみると、前回は「歴史的遺産が多い」(12.4%。今回は8位で6.9%)、今回は「子育て・教育環境が整っている」(20.7%。前回は10位で3.8%)となっており、“子育て・教育環境”を町の魅力ととらえる人が大幅に増えていることがうかがえます。

属性別でみると、すべての属性で町全体の傾向と同様に「自然環境が豊かである」が第1位、ほとんどの属性で「人情味や地域の連帯感がある」あるいは「生活環境施設が整っている」が第2位ですが、50代以下の層では「子育て・教育環境が整っている」(26.3%・37.5%・35.4%・26.1%。同率含む)が第2位で、これら子育て世代を中心とする層では、“子育て・教育環境”も町の代表的な魅力ととらえていることがうかがえます。[図表2・3参照]

【比較】

前回アンケート 「自然環境が豊かである」、「人情味や地域の連帯感がある」、「生活環境施設が整っている」の順。

図表2 町の魅力（全体／複数回答）



図表3 町の魅力（全体・性別・年齢・居住地区－上位3位／複数回答）

（単位：％）

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|--------------------|--------------------------------------|------------------------|
| 全体 | | 自然環境が豊かである 63.8 | 人情味や地域の連帯感がある 23.9 | 生活環境施設が整っている 22.6 |
| 性別 | 男性 | 自然環境が豊かである 61.5 | 人情味や地域の連帯感がある 23.1 | 子育て・教育環境が整っている 21.4 |
| | 女性 | 自然環境が豊かである 67.6 | 生活環境施設が整っている／人情味や地域の連帯感がある | 25.4 |
| 年齢 | 10・20代 | 自然環境が豊かである 68.4 | 子育て・教育環境が整っている／人情味や地域の連帯感がある 26.3 | |
| | 30代 | 自然環境が豊かである 53.1 | 子育て・教育環境が整っている 37.5 | 特に魅力を感じない 15.6 |
| | 40代 | 自然環境が豊かである 61.5 | 子育て・教育環境が整っている 35.4 | 人情味や地域の連帯感がある 26.2 |
| | 50代 | 自然環境が豊かである 73.9 | 子育て・教育環境が整っている 26.1 | 特に魅力を感じない 17.4 |
| | 60代 | 自然環境が豊かである 65.6 | 人情味や地域の連帯感がある 31.3 | 子育て・教育環境が整っている 20.3 |
| | 70歳以上 | 自然環境が豊かである 62.3 | 生活環境施設が整っている 45.9 | 保健・医療環境が整っている 25.3 |
| 居住地区 | 鶴沼地区 | 自然環境が豊かである 57.4 | 人情味や地域の連帯感がある 24.6 | 生活環境施設が整っている 21.3 |
| | 浦臼地区 | 自然環境が豊かである 65.7 | 生活環境施設が整っている 24.9 | 人情味や地域の連帯感がある 23.7 |
| | 晩生内地区 | 自然環境が豊かである 62.7 | 人情味や地域の連帯感がある 23.9 | 保健・医療環境が整っている 20.9 |

(3) 今後の定住意向

問4 あなたは、これからも浦臼町に住みたいと思いますか。

● “住み続けたい”が55.6%、“住みたくない”が16.2%。

町民の今後の定住意向を把握するため、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらかともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「住みたい」と答えた人が29.5%で最も多く、これと「どちらかといえば住みたい」(26.1%)をあわせた“住みたい”という人が55.6%となっています。これに対し、“住みたくない”(「どちらかといえば住みたくない」12.2%と「住みたくない」4.0%の合計)という人は16.2%と2割弱となっています。

問2の「町への愛着度」の結果(“愛着を感じている”が70.2%)とあわせて考えると、“住みたい”は約15ポイント低いことから、「町に愛着はあるが住みたいとは思わない」という人が一定数存在していることがうかがえます。

前回のアンケートと比較すると、“住みたい”という率はほぼ同様で、この10年間で、定住意向はほとんど変化していないことがうかがえます。

属性別で“住みたい”という率をみると、性別では、男性(60.4%)が女性(52.4%)を8ポイント上回り、定住意向は男性の方がかなり強い(女性の方がかなり弱い)ことがうかがえます。

年齢別では、70歳以上(68.5%)で最も高く、10・20代(26.3%)と50代(39.1%)が目立って低くなっており、10・20代では「住みたい」と明確に肯定した人がいないこと、50代では30代(50.0%)や40代(52.3%)よりも低いことが特徴的な結果となっています。

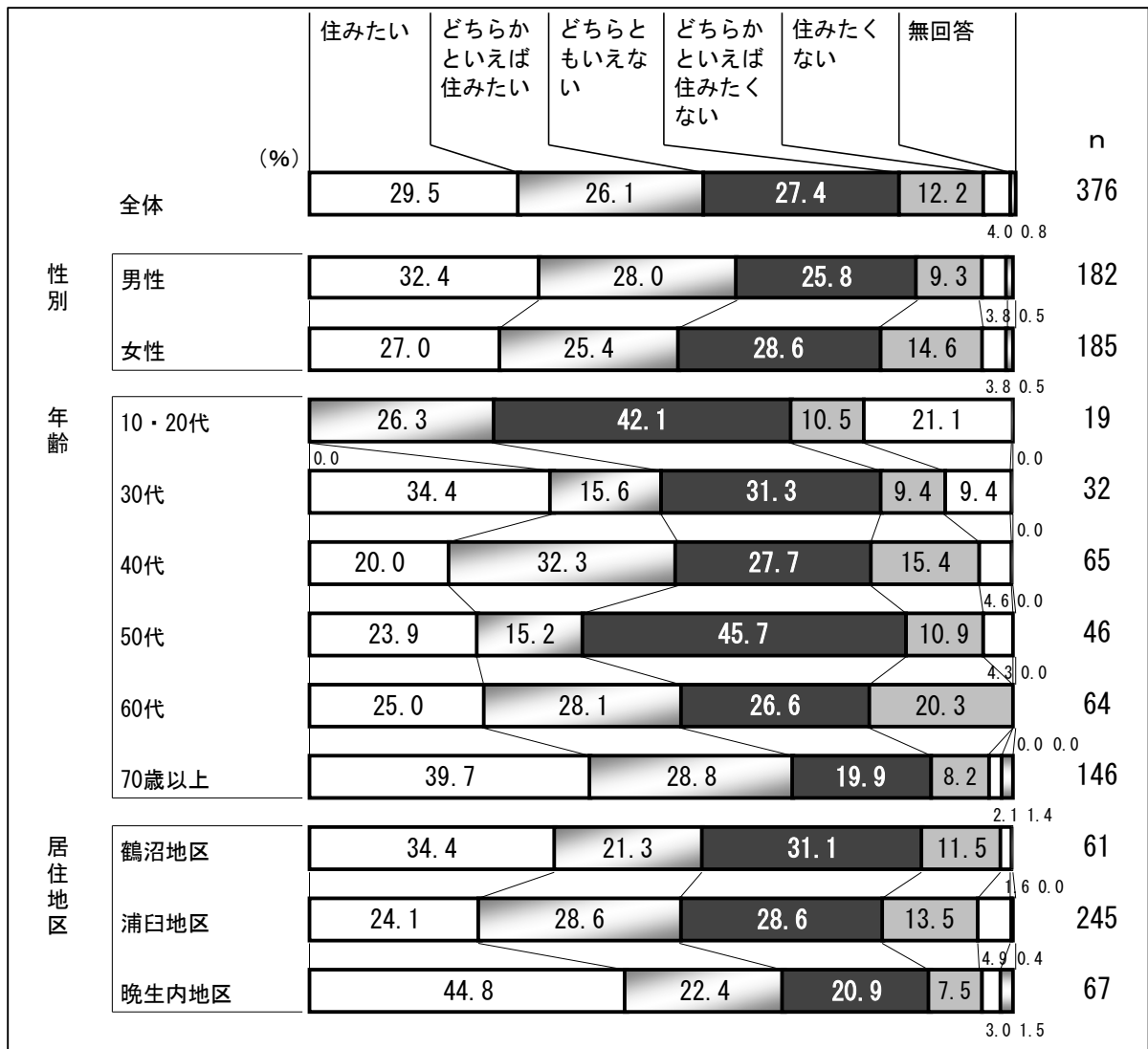
居住地区別では、晩生内地区(67.2%)で最も高く、浦臼地区(52.7%)で最も低くなっており、地区によって約15ポイントもの差がみられます。

これらのことから、定住意向が弱い女性や10・20代及び50代、浦臼地区の定住意向をいかに強めていくかが今後の課題の一つとしてあげられます。[図表4参照]

【比較】

前回アンケート “住みたい”が55.9%、“住みたくない”が13.0%。

図表4 今後の定住意向（全体・性別・年齢・居住地区）



(4) 住みたくない主な理由

※問4で「4.」または「5.」に○をつけた方にうかがいます。
問4付問 住みたくない主な理由はなんですか。【複数回答】

- 「買物の便が悪い」、「道路・交通の便が悪い」、「働く場が不十分」の順。

問4で“住みたくない”と答えた人（全体の16.2%・61人）に、その主な理由をたずねたところ、「買物の便が悪い」（77.0%）が第1位、「道路・交通の便が悪い」（59.0%）が第2位、「働く場が不十分」（37.7%）が第3位で、これらは他を引き離して代表的な理由となっており、“買物の不便さ”をはじめ、“道路・交通の不便さ”や“雇用の場の不足”が指摘されています。

これら以外では、「産業の活力が不十分」（16.4%）、「保健・医療環境が不十分」（14.8%）の順となっています。

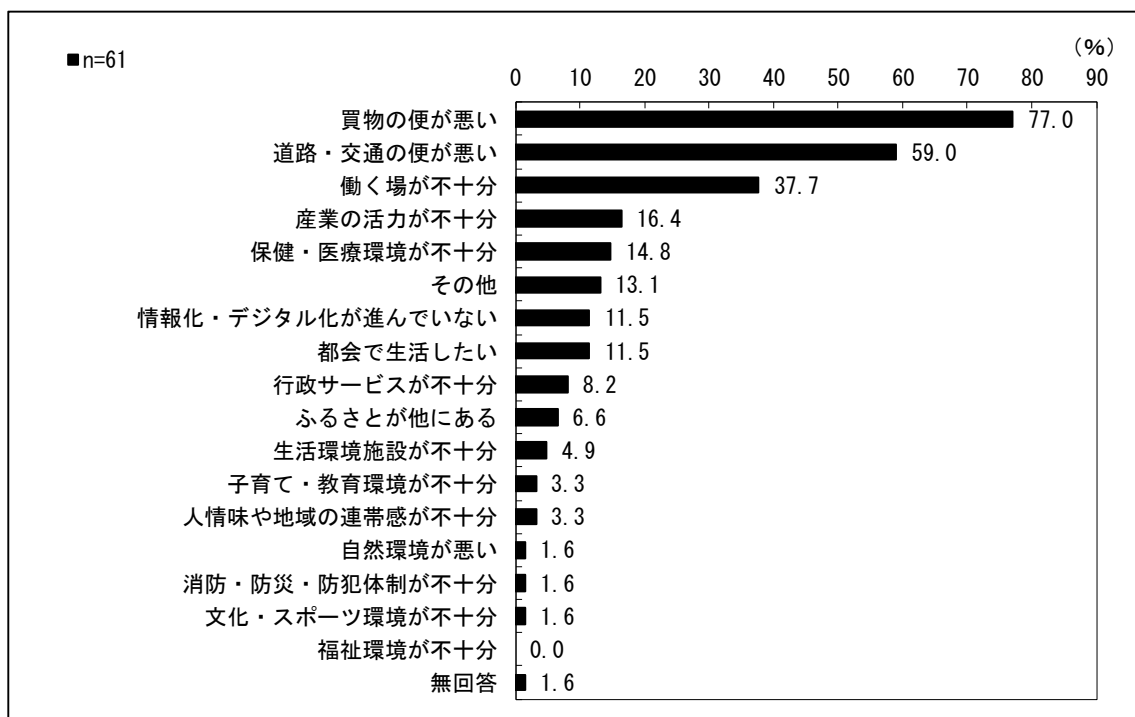
前回のアンケートと比較すると、上位3位までは内容・順位ともに同様で、この10年間で、住みたくない主な理由に大きな変化はないことがうかがえます。

属性別で見ると、ほとんどの属性で町全体の傾向と同様に「買物の便が悪い」が第1位となっていますが、30代では「働く場が不十分」（66.7%）が第1位で、30代では、買物や道路・交通の不便さよりも、“雇用の場の不足”が最も切実な問題としてとらえられていることがうかがえます。[図表5・6参照]

【比較】

前回アンケート 「買物の便が悪い」、「道路・交通の便が悪い」、「働く場が不十分」の順。

図表5 住みたくない主な理由（全体／複数回答）



図表6 住みたくない主な理由
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|------------------|--------------------------------|-------------------------------------------|
| 全体 | | 買物の便が悪い 77.0 | 道路・交通の便が悪い 59.0 | 働く場が不十分 37.7 |
| 性別 | 男性 | 買物の便が悪い 62.5 | 道路・交通の便が悪い 58.3 | 働く場が不十分 41.7 |
| | 女性 | 買物の便が悪い 85.3 | 道路・交通の便が悪い 58.8 | 働く場が不十分 35.3 |
| 年齢 | 10・20代 | 買物の便が悪い 100.0 | 道路・交通の便が悪い 66.7 | 産業の活力が不十分／働く場が不十分 33.3 |
| | 30代 | 働く場が不十分 66.7 | 道路・交通の便が悪い／買物の便が悪い 50.0 | |
| | 40代 | 買物の便が悪い 61.5 | 道路・交通の便が悪い 46.2 | 働く場が不十分／都会で生活したい 23.1 |
| | 50代 | 買物の便が悪い 85.7 | 道路・交通の便が悪い 71.4 | 働く場が不十分 57.1 |
| | 60代 | 買物の便が悪い 76.9 | 道路・交通の便が悪い 38.5 | 保健・医療環境が不十分／産業の活力が不十分／働く場が不十分／その他 30.8 |
| | 70歳以上 | 買物の便が悪い 86.7 | 道路・交通の便が悪い 80.0 | 働く場が不十分 40.0 |
| 居住地区 | 鶴沼地区 | 買物の便が悪い 75.0 | 道路・交通の便が悪い／働く場が不十分 62.5 | |
| | 浦臼地区 | 買物の便が悪い 80.0 | 道路・交通の便が悪い 60.0 | 働く場が不十分 37.8 |
| | 晩生内地区 | 買物の便が悪い 57.1 | 道路・交通の便が悪い／保健・医療環境が不十分 42.9 | |

2 町の現状と今後の取り組みについて

(1) 町の各環境に関する満足度

問5 浦臼町では、これまで第4次浦臼町総合振興計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(1) 満足度 あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。

- 満足度が最も高いのは「保健サービス提供体制」、次いで「上水道の整備状況」、「下水道の整備状況」の順。
- 満足度が最も低いのは「商業振興の状況」、次いで「工業振興の状況」・「雇用対策の状況」（同点）の順。

町の各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、第4次浦臼町総合振興計画に基づき、産業分野、保健・医療・福祉分野、教育・文化分野、生活環境分野、生活基盤分野、協働・行財政分野の6分野43項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化【後述参照】で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、満足度が最も高いのは「保健サービス提供体制」（1.74点）で、次いで第2位が「上水道の整備状況」（1.73点）、第3位が「下水道の整備状況」（1.32点）、続いて「子育て支援体制」（1.21点）、「医療体制」（1.10点）、「し尿処理の状況」（1.02点）、「消防・救急体制」（0.92点）、「ごみ処理・リサイクル等の状況」（0.91点）、「小・中学校教育環境」（0.81点）、「住宅施策の状況」（0.80点）の順となっています。

一方、満足度が最も低いのは「商業振興の状況」（-1.97点）で、次いで第2位が「工業振興の状況」・「雇用対策の状況」（同点-1.62点）、続いて「観光振興の状況」（-1.15点）、「農業振興の状況」（-1.06点）、「林業振興の状況」（-1.04点）、「消費者対策の状況」（-0.81点）、「移住・定住促進対策の状況」（-0.77点）、「路線バスの状況」（-0.74点）、「町運行のバスの状況」（-0.49点）の順となっています。

全体的にみると、保健・医療・福祉分野と教育・文化分野、生活環境分野の満足度が高く、産業分野と生活基盤分野の満足度が低くなっており、43項目のうち、満足度がプラス評価の項目が25項目、マイナス評価の項目が17項目、中間点が1項目となっています。

また、「保健サービス提供体制」（第1位）や「子育て支援体制」（第4位）、「医療体制」（第5位）の満足度が比較的高いことも特徴としてあげられます。

前回のアンケートと比較すると、分野ごとの傾向は大きく変わりませんが、プラス評価の項目が前回（21 項目）よりも4項目多いこと、半分以上の項目（23 項目）の満足度が前回よりも上がっていることから、全体的な満足度はやや上がっているといえます。

なお、満足度が前回よりも上がった項目と下がった項目の代表（1 点以上）をみると、最も上がったのは「消防・救急体制」（2.54 点上昇）、次いで「医療体制」（2.08 上昇）、「子育て支援体制」（2.05 点上昇）、「路線バスの状況」（1.59 点上昇）、「防災体制」（1.35 点上昇）、「移住・定住促進対策」（1.23 点上昇）、「雇用対策の状況」（1.18 点上昇）、「再生可能エネルギー導入の状況」（1.06 点上昇）、「商業振興の状況」（1.02 点上昇）で、一方、下がった項目は「除排雪の状況」（1.48 点低下）と「ごみ処理・リサイクル等の状況」（1.19 点低下）の2項目となっており、消防・防災や医療、子育て支援、路線バスなどに関する満足度が上がり、除排雪とごみ処理に関する満足度が下がっていることがわかります。【図表7参照】

また、これを居住地区で見ると、以下のとおりとなっています。

鶴沼地区

満足度の上位3項目は、第1位が「保健サービス提供体制」(1.84点)、第2位が「し尿処理の状況」(1.67点)、第3位が「交通安全体制」(1.52点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業振興の状況」(-2.83点)、第2位が「林業振興の状況」・「観光振興の状況」(同点-2.08点)となっています。

43項目のうち、プラス評価の項目が20項目、マイナス評価の項目が22項目、中間点が1項目で、プラス評価の項目が町全体よりも5項目少なく、評価が厳しくなっています。[図表8参照]

浦臼地区

満足度の上位3項目は、第1位が「上水道の整備状況」(1.48点)、第2位が「保健サービス提供体制」(1.23点)、第3位が「下水道の整備状況」(1.17点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業振興の状況」(-1.93点)、第2位が「雇用対策の状況」(-1.70点)、第3位が「工業振興の状況」(-1.69点)となっています。

43項目のうち、プラス評価の項目が20項目、マイナス評価の項目が23項目で、プラス評価の項目が町全体よりも5項目少なく、評価が厳しくなっています。[図表8参照]

晩生内地区

満足度の上位3項目は、第1位が「保健サービス提供体制」(3.57点)、第2位が「上水道の整備状況」(2.89点)、第3位が「下水道の整備状況」(2.55点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「商業振興の状況」(-1.32点)、第2位が「路線バスの状況」(-1.10点)、第3位が「雇用対策の状況」(-0.93点)となっています。

43項目のうち、プラス評価の項目が32項目、マイナス評価の項目が9項目、中間点が2項目で、プラス評価の項目が町全体よりも7項目多く、評価が高くなっています。[図表8参照]

※加重平均値の算出方法

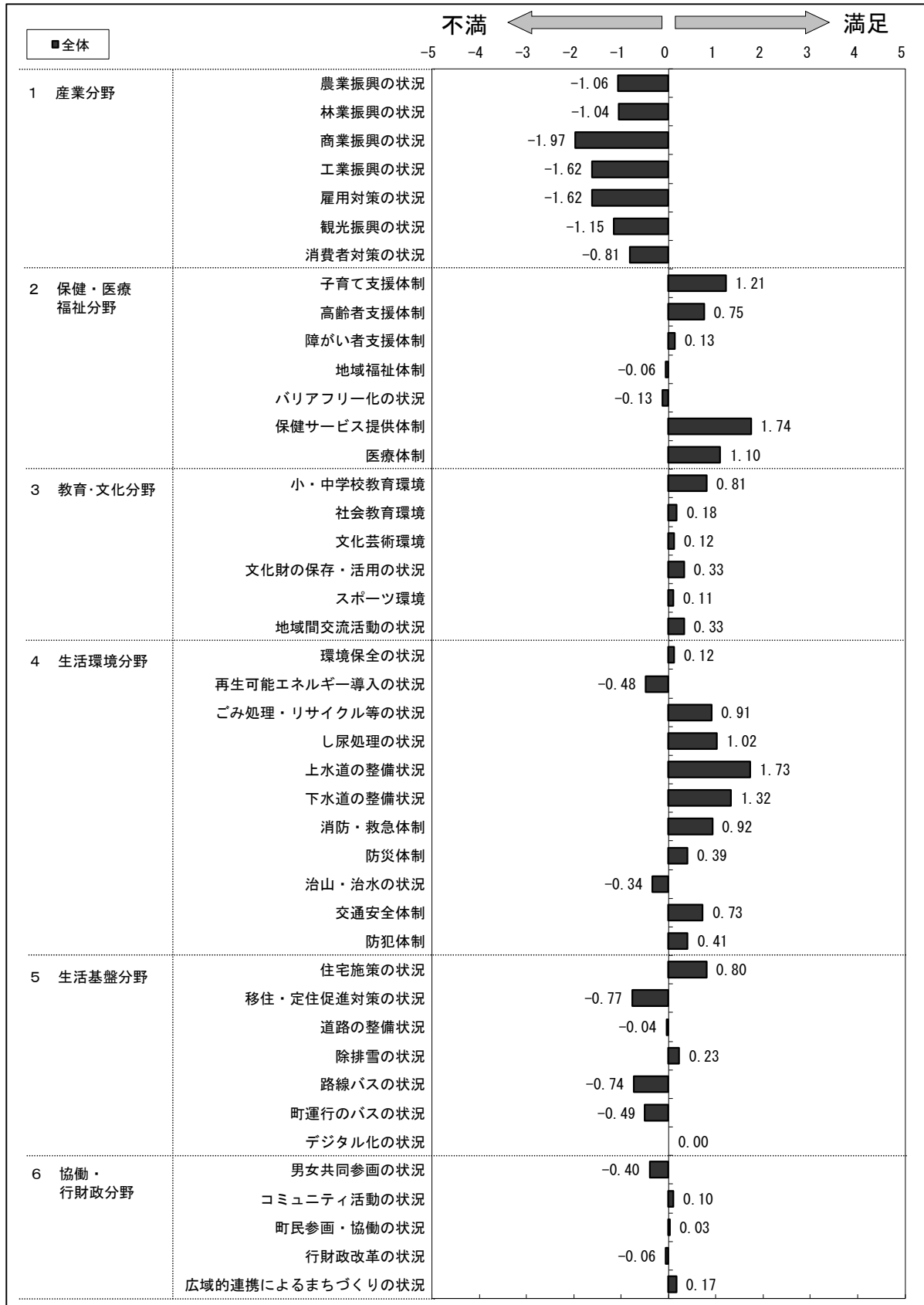
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満である」、「不満であ} \\ \text{る」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表7 町の各環境に関する満足度（全体）

（単位：評価点）



【前回アンケートとの比較】（全体）

（単位：評価点）

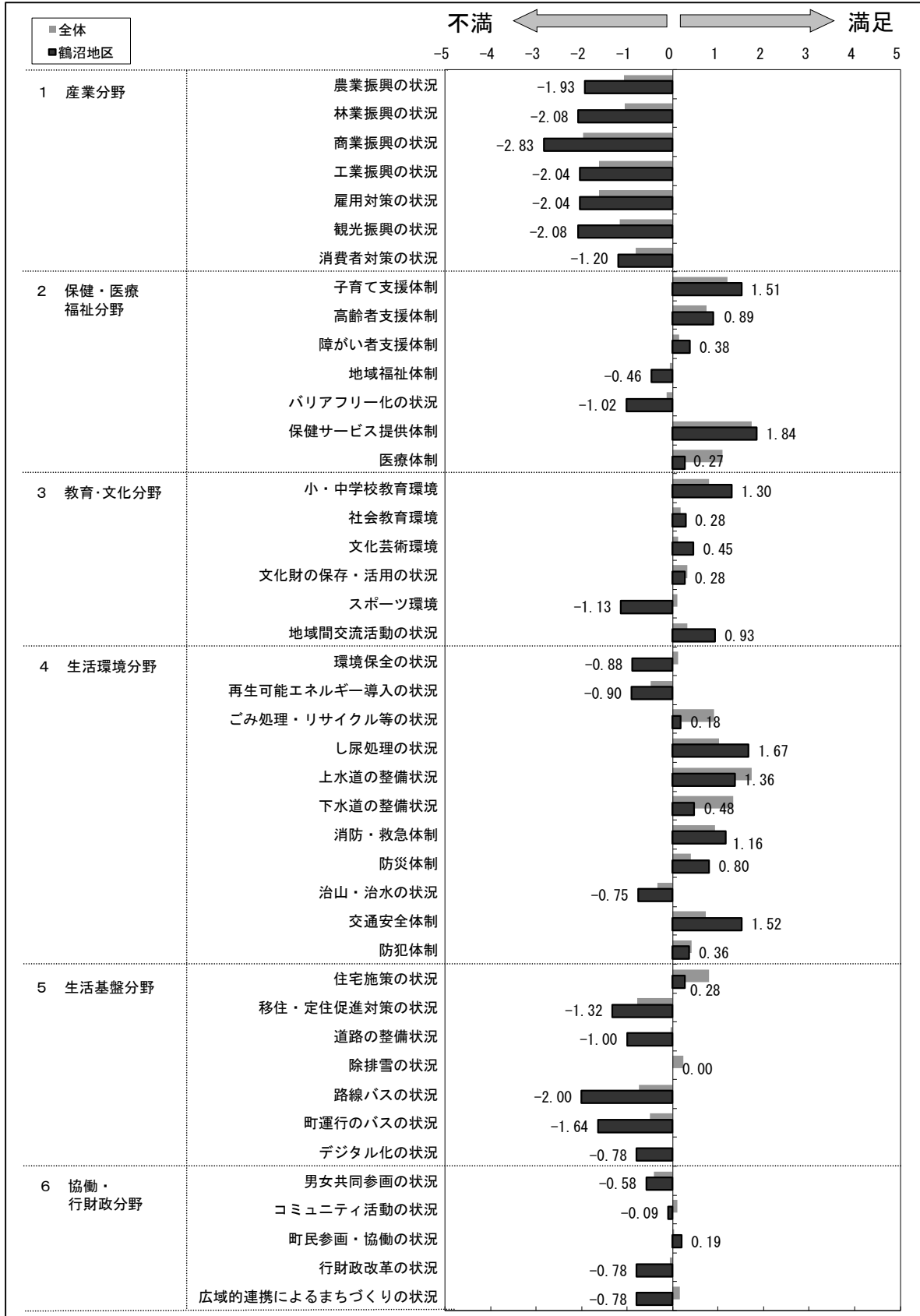
| 分野 | 項目 | 前回の満足度 | 今回の満足度 | 比較 |
|-----------------|------------------|-------------|-------------|---------|
| 1 産業分野 | 農業振興の状況 | -0.34 | -1.06 | 0.72 低下 |
| | 林業振興の状況 | -1.47 | -1.04 | 0.43 上昇 |
| | 商業振興の状況 | (▲第1位)-2.99 | (▲第1位)-1.97 | 1.02 上昇 |
| | 工業振興の状況 | -2.15 | (▲第2位)-1.62 | 0.53 上昇 |
| | 雇用対策の状況 | (▲第2位)-2.79 | (▲第2位)-1.62 | 1.17 上昇 |
| | 観光振興の状況 | -1.83 | -1.15 | 0.68 上昇 |
| | 消費者対策の状況 | -1.08 | -0.81 | 0.27 上昇 |
| 2 保健・医療 福祉分野 | 子育て支援体制 | -0.84 | 1.21 | 2.05 上昇 |
| | 高齢者支援体制 | 1.28 | 0.75 | 0.53 低下 |
| | 障がい者支援体制 | 0.29 | 0.13 | 0.16 低下 |
| | 地域福祉体制 | 0.91 | -0.06 | 0.97 低下 |
| | バリアフリー化の状況 | -0.79 | -0.13 | 0.66 上昇 |
| | 保健サービス提供体制 | 1.70 | (○第1位)1.74 | 0.04 上昇 |
| | 医療体制 | -0.98 | 1.10 | 2.08 上昇 |
| 3 教育・文化 分野 | 小・中学校教育環境 | 0.96 | 0.81 | 0.15 低下 |
| | 社会教育環境 | 0.29 | 0.18 | 0.11 低下 |
| | 文化芸術環境 | -0.07 | 0.12 | 0.19 上昇 |
| | 文化財の保存・活用の状況 | 0.91 | 0.33 | 0.58 低下 |
| | スポーツ環境 | -0.48 | 0.11 | 0.59 上昇 |
| | 地域間交流活動の状況 | 0.71 | 0.33 | 0.38 低下 |
| 4 生活環境分野 | 環境保全の状況 | -0.02 | 0.12 | 0.14 上昇 |
| | 再生可能エネルギー導入の状況 | -1.54 | -0.48 | 1.06 上昇 |
| | ごみ処理・リサイクル等の状況 | (○第2位)2.10 | 0.91 | 1.19 低下 |
| | し尿処理の状況 | 1.50 | 1.02 | 0.48 低下 |
| | 上水道の整備状況 | (○第1位)2.26 | (○第2位)1.73 | 0.53 低下 |
| | 下水道の整備状況 | 1.56 | (○第3位)1.32 | 0.24 低下 |
| | 消防・救急体制 | -1.62 | 0.92 | 2.54 上昇 |
| | 防災体制 | -0.96 | 0.39 | 1.35 上昇 |
| | 治山・治水の状況 | -0.52 | -0.34 | 0.18 上昇 |
| | 交通安全体制 | 1.11 | 0.73 | 0.38 低下 |
| | 防犯体制 | -0.01 | 0.41 | 0.42 上昇 |
| 5 生活基盤分野 | 住宅施策の状況 | 0.19 | 0.80 | 0.61 上昇 |
| | 移住・定住促進対策の状況 | -2.00 | -0.77 | 1.23 上昇 |
| | 道路の整備状況 | 0.47 | -0.04 | 0.51 低下 |
| | 除排雪の状況 | (○第3位)1.71 | 0.23 | 1.48 低下 |
| | 路線バスの状況 | (▲第3位)-2.33 | -0.74 | 1.59 上昇 |
| | 町運行のバスの状況 | -0.31 | -0.49 | 0.18 低下 |
| | デジタル化の状況 | -0.10 | 0.00 | 0.10 上昇 |
| 6 協働・行財政 分野 | 男女共同参画の状況 | 0.12 | -0.40 | 0.52 低下 |
| | コミュニティ活動の状況 | 0.37 | 0.10 | 0.27 低下 |
| | 町民参画・協働の状況 | 0.18 | 0.03 | 0.15 低下 |
| | 行財政改革の状況 | -0.89 | -0.06 | 0.83 上昇 |
| | 広域的連携によるまちづくりの状況 | -0.37 | 0.17 | 0.54 上昇 |

※アミカケは前回よりも満足度が低下した項目。

図表8 町の各環境に関する満足度（居住地区別）

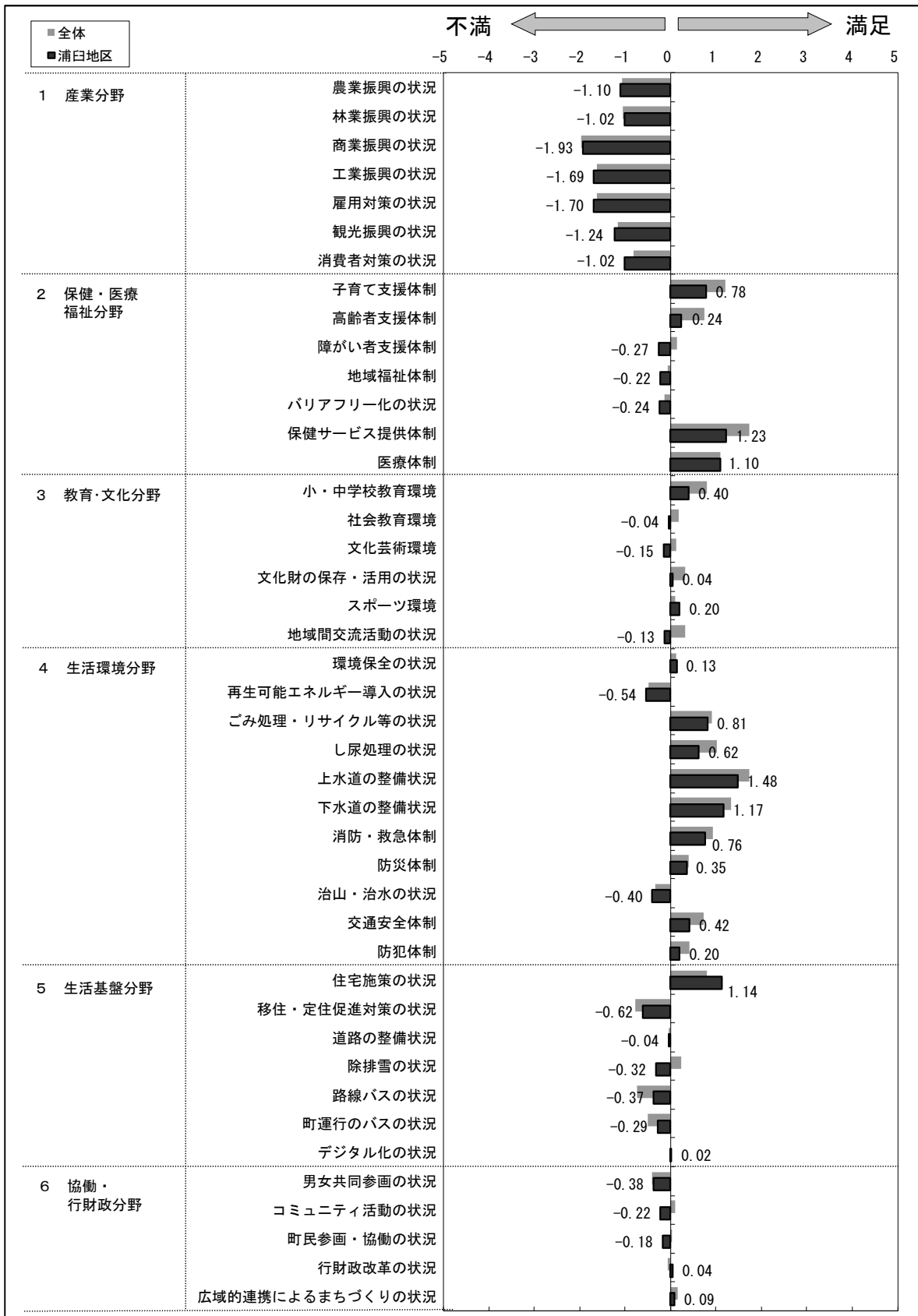
鶴沼地区

（単位：評価点）



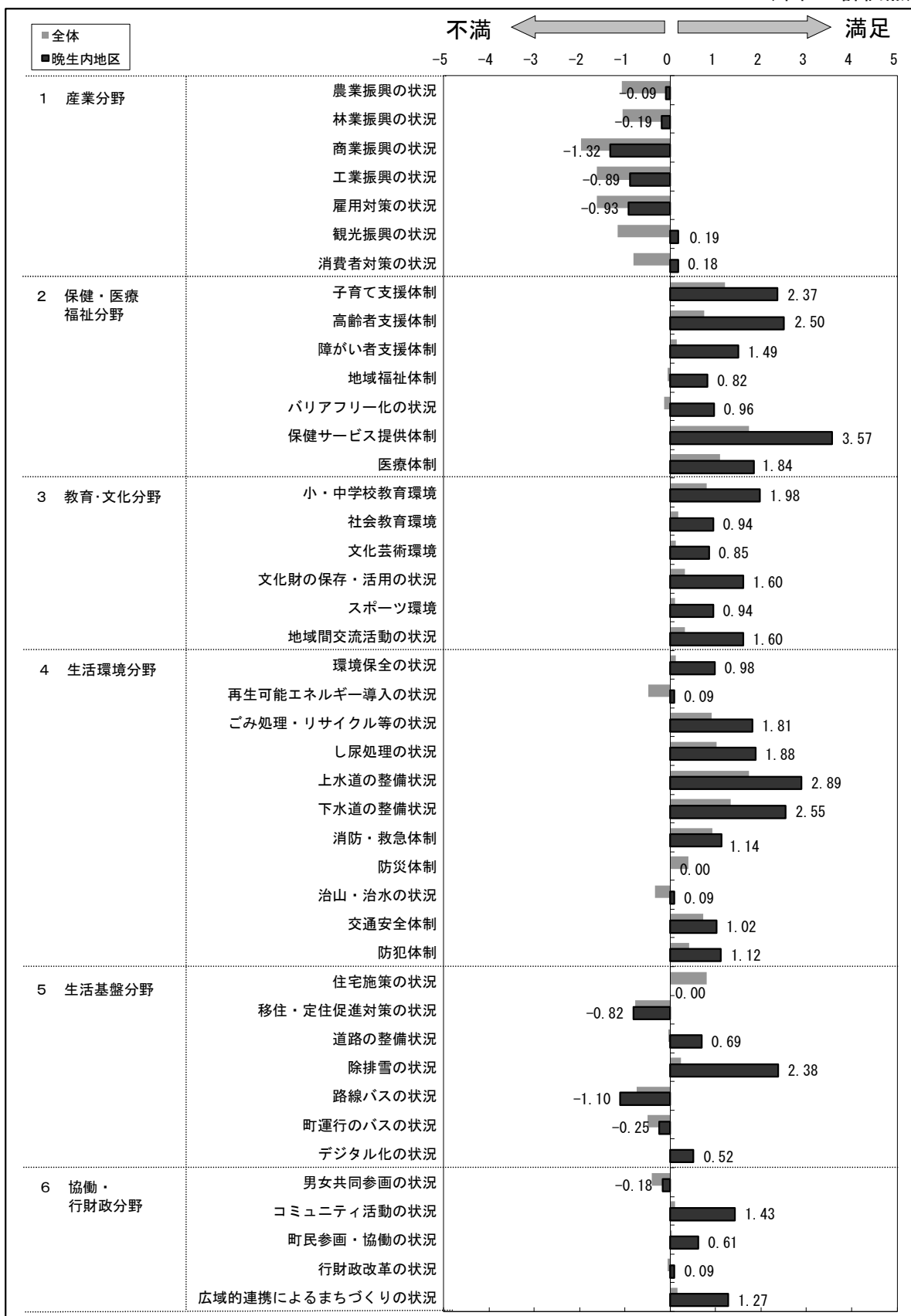
浦臼地区

(単位：評価点)



晩生内地区

(単位：評価点)



(2) 町の各環境に関する重要度

問5 浦臼町では、これまで第4次浦臼町総合振興計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(2) 重要度 あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視していますか。

- 重要度が最も高いのは「除排雪の状況」、次いで「医療体制」、「消防・救急体制」、「上水道の整備状況」、「ごみ処理・リサイクル等の状況」の順。

町の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ6分野43項目について、「重視している」、「やや重視している」、「どちらともいえない」、「あまり重視していない」、「重視していない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化【後述参照】で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、重要度が最も高いのは「除排雪の状況」（3.24点）で、次いで第2位が「医療体制」（2.94点）、第3位が「消防・救急体制」（2.93点）、続いて「上水道の整備状況」（2.76点）、「ごみ処理・リサイクル等の状況」（2.57点）、「保健サービス提供体制」（2.40点）、「子育て支援体制」（2.38点）、「防災体制」（2.37点）、「道路の整備状況」（2.35点）、「防犯体制」（2.34点）の順となっています。

これら上位10項目をみると、生活環境分野の項目が5目、保健・医療・福祉分野の項目が3項目、生活基盤分野の項目が2項目で、“快適で安全な居住環境の整備”をはじめ、“保健・医療・福祉の充実”、“便利な道路・交通等生活基盤の整備”が重視されていることがうかがえます。

前回のアンケートと比較すると、上位10項目の中に、今回新たに「上水道の整備状況」（今回第4位）と「防犯体制」（が今回第10位）が加わり、「農業振興の状況」（前回第6位）と「小・中学校教育環境」（前回第10位）がはずれていますが、そのほかの8項目は同様となっており、全体的な傾向は大きくは変わっていないといえます。

なお、ほとんどの項目の重要度が前回よりも下がっており、前回よりも上がっているのは、「男女共同参画の状況」（0.20点上昇）と「林業振興の状況」（0.01点上昇）の2項目のみという結果でした。【図表9参照】

また、これを居住地区別でみると、以下のとおりとなっています。

鶴沼地区

重要度の上位5項目は、第1位が「子育て支援体制」(3.82点)、第2位が「除排雪の状況」(3.46点)、第3位が「医療体制」(3.40点)、第4位が「高齢者支援体制」(3.33点)、第5位が「保健サービス提供体制」(3.06点)で、町全体で第7位の「子育て支援体制」が第1位になっていることが特徴としてあげられます。[図表10参照]

浦臼地区

重要度の上位5項目は、第1位が「除排雪の状況」(2.76点)、第2位が「消防・救急体制」(2.61点)、第3位が「上水道の整備状況」(2.59点)、第4位が「医療体制」(2.58点)、第5位が「ごみ処理・リサイクル等の状況」(2.41点)で、町全体に近い傾向を示しています。[図表10参照]

晩生内地区

重要度の上位5項目は、第1位が「除排雪の状況」(4.58点)、第2位が「農業振興の状況」(4.17点)、第3位が「消防・救急体制」(4.11点)、第4位が「子育て支援体制」(4.00点)、第5位が「高齢者支援体制」(3.73点)で、町全体で第15位の「農業振興の状況」が第2位になっていること、町全体で第11位の「高齢者支援体制」が第5位になっていることが特徴としてあげられます。[図表10参照]

※加重平均値の算出方法

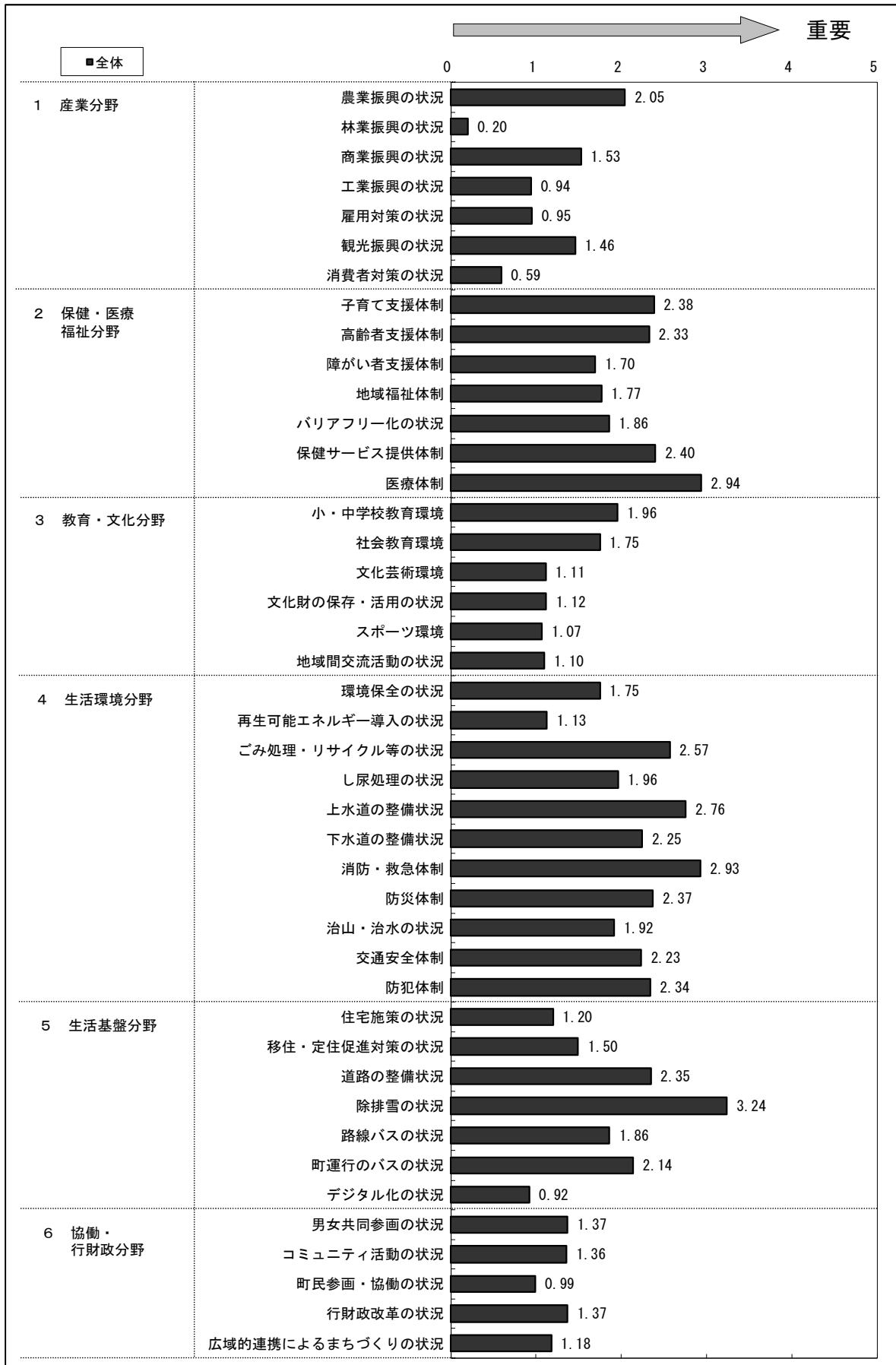
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視している」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「やや重視し} \\ \text{ている」、「どちらともいえない} \\ \text{」、「あまり重視していない」、} \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(重要度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表9 町の各環境に関する重要度（全体）

（単位：評価点）



【前回アンケートとの比較】（全体）

（単位：評価点）

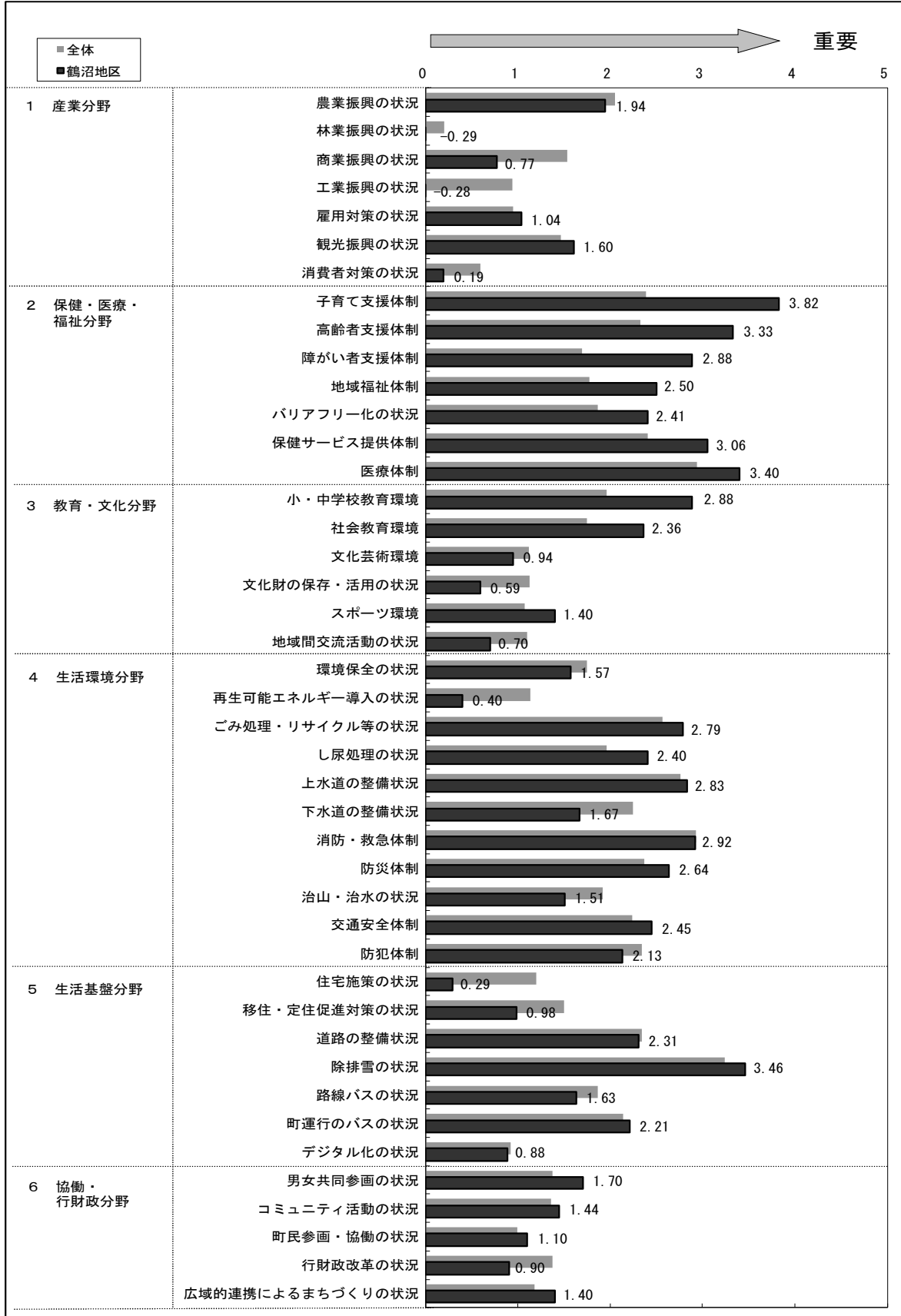
| 分野 | 項目 | 前回の重要度 | 今回の重要度 | 比較 |
|-----------------|------------------|------------|------------|---------|
| 1 産業分野 | 農業振興の状況 | 4.21 | 2.05 | 2.16 低下 |
| | 林業振興の状況 | 0.19 | 0.20 | 0.01 上昇 |
| | 商業振興の状況 | 2.63 | 1.53 | 1.10 低下 |
| | 工業振興の状況 | 1.44 | 0.94 | 0.50 低下 |
| | 雇用対策の状況 | 2.35 | 0.95 | 1.40 低下 |
| | 観光振興の状況 | 3.12 | 1.46 | 1.66 低下 |
| | 消費者対策の状況 | 1.19 | 0.59 | 0.60 低下 |
| 2 保健・医療 福祉分野 | 子育て支援体制 | 4.13 | 2.38 | 1.75 低下 |
| | 高齢者支援体制 | (○第5位)4.26 | 2.33 | 1.93 低下 |
| | 障がい者支援体制 | 2.92 | 1.70 | 1.22 低下 |
| | 地域福祉体制 | 3.35 | 1.77 | 1.58 低下 |
| | バリアフリー化の状況 | 3.09 | 1.86 | 1.23 低下 |
| | 保健サービス提供体制 | (○第4位)4.38 | 2.40 | 1.98 低下 |
| | 医療体制 | (○第3位)5.00 | (○第2位)2.94 | 2.06 低下 |
| 3 教育・文化 分野 | 小・中学校教育環境 | 3.79 | 1.96 | 1.83 低下 |
| | 社会教育環境 | 2.72 | 1.75 | 0.97 低下 |
| | 文化芸術環境 | 1.69 | 1.11 | 0.58 低下 |
| | 文化財の保存・活用の状況 | 1.46 | 1.12 | 0.34 低下 |
| | スポーツ環境 | 2.27 | 1.07 | 1.20 低下 |
| | 地域間交流活動の状況 | 1.28 | 1.10 | 0.18 低下 |
| 4 生活環境分野 | 環境保全の状況 | 2.67 | 1.75 | 0.92 低下 |
| | 再生可能エネルギー導入の状況 | 2.40 | 1.13 | 1.27 低下 |
| | ごみ処理・リサイクル等の状況 | 3.99 | (○第5位)2.57 | 1.42 低下 |
| | し尿処理の状況 | 2.63 | 1.96 | 0.67 低下 |
| | 上水道の整備状況 | 3.08 | (○第4位)2.76 | 0.32 低下 |
| | 下水道の整備状況 | 3.10 | 2.25 | 0.85 低下 |
| | 消防・救急体制 | (○第2位)5.26 | (○第3位)2.93 | 2.33 低下 |
| | 防災体制 | 4.12 | 2.37 | 1.75 低下 |
| | 治山・治水の状況 | 3.15 | 1.92 | 1.23 低下 |
| | 交通安全体制 | 3.16 | 2.23 | 0.93 低下 |
| | 防犯体制 | 3.78 | 2.34 | 1.44 低下 |
| 5 生活基盤分野 | 住宅施策の状況 | 2.13 | 1.20 | 0.93 低下 |
| | 移住・定住促進対策の状況 | 2.70 | 1.50 | 1.20 低下 |
| | 道路の整備状況 | 3.51 | 2.35 | 1.16 低下 |
| | 除排雪の状況 | (○第1位)5.47 | (○第1位)3.24 | 2.23 低下 |
| | 路線バスの状況 | 3.50 | 1.86 | 1.64 低下 |
| | 町運行のバスの状況 | 3.74 | 2.14 | 1.60 低下 |
| | デジタル化の状況 | 2.13 | 0.92 | 1.21 低下 |
| 6 協働・行財政 分野 | 男女共同参画の状況 | 1.17 | 1.37 | 0.20 上昇 |
| | コミュニティ活動の状況 | 1.91 | 1.36 | 0.55 低下 |
| | 町民参画・協働の状況 | 1.57 | 0.99 | 0.58 低下 |
| | 行財政改革の状況 | 2.55 | 1.37 | 1.18 低下 |
| | 広域的連携によるまちづくりの状況 | 2.25 | 1.18 | 1.07 低下 |

※アミカケは前回よりも重要度が上昇した項目。

図表 10 町の各環境に関する重要度（居住地区別）

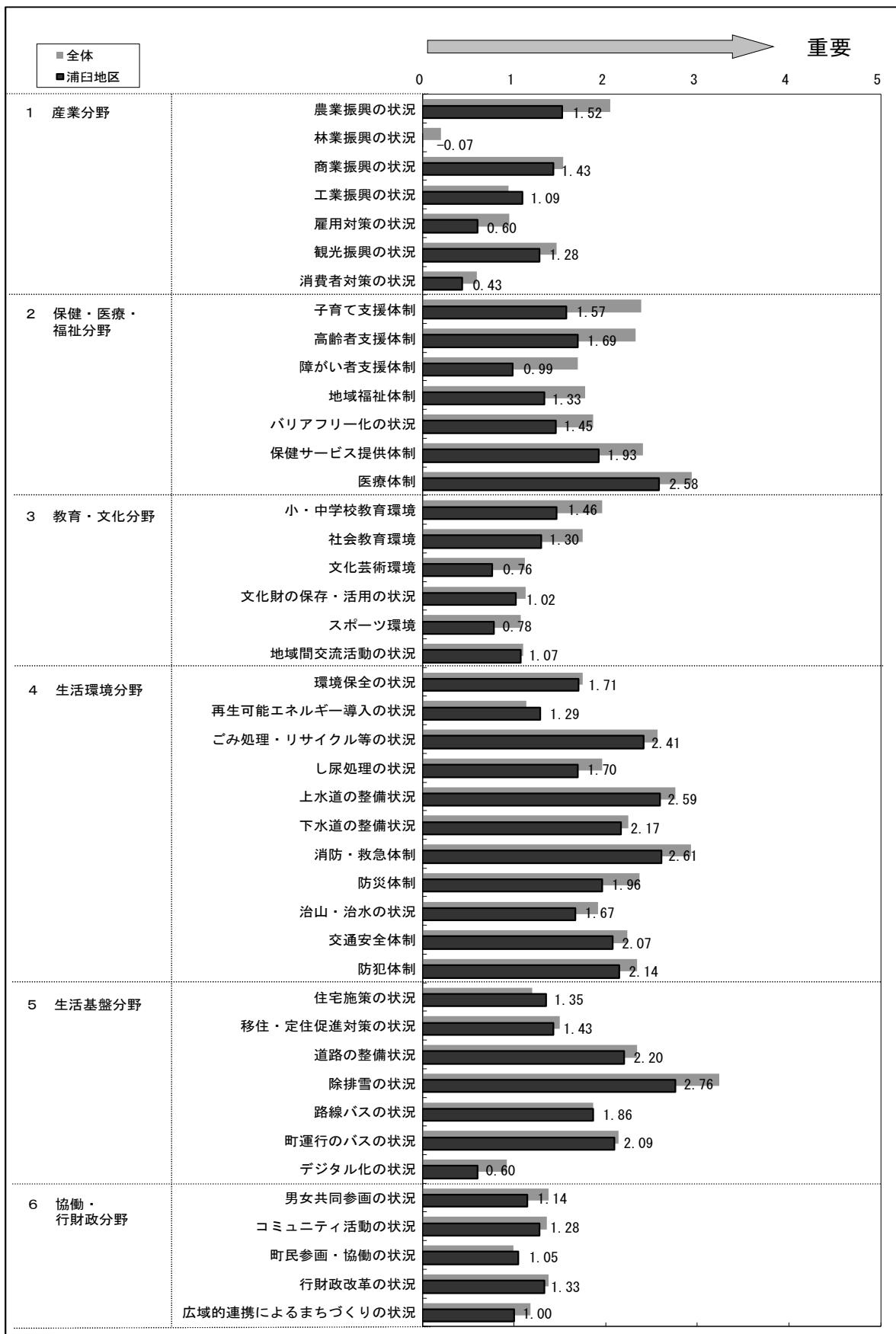
鶴沼地区

（単位：評価点）



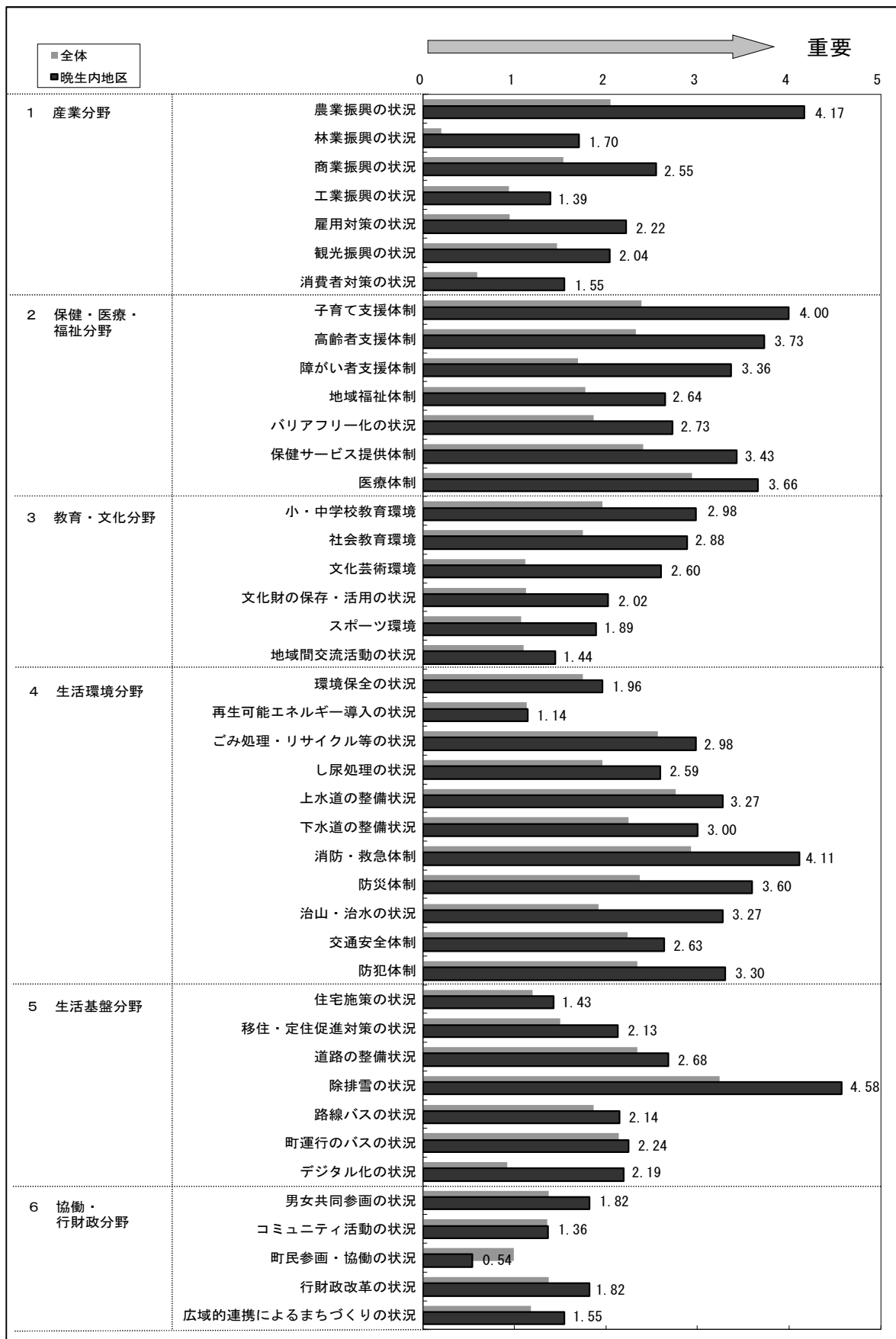
浦臼地区

(単位：評価点)



晩生内地区

(単位：評価点)



(3) 参考：満足度と重要度の相関 [優先度]

● 優先度が最も高いのは「商業振興の状況」、次いで「除排雪の状況」、「農業振興の状況」、「町運行のバスの状況」、「路線バスの状況」の順。

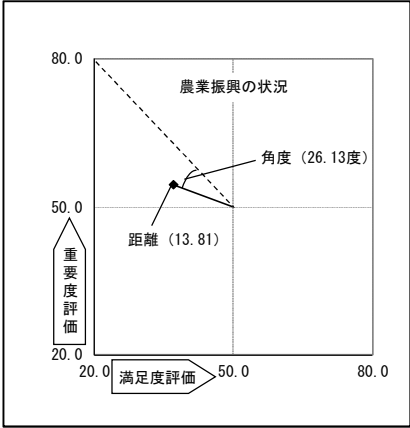
これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試み（参考）として、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図からの数量化 [下記参照] による分析で優先度（評価点：最高点 42.43 点、中間点 0 点、最低点 -42.43 点）を算出しました。

その結果、優先度が最も高いのは「商業振興の状況」（9.92 点）で、次いで第 2 位が「除排雪の状況」（9.84 点）、第 3 位が「農業振興の状況」（9.80 点）、続いて「町運行のバスの状況」（8.43 点）、「路線バスの状況」（5.89 点）の順となっています。[図表 11・12 参照]

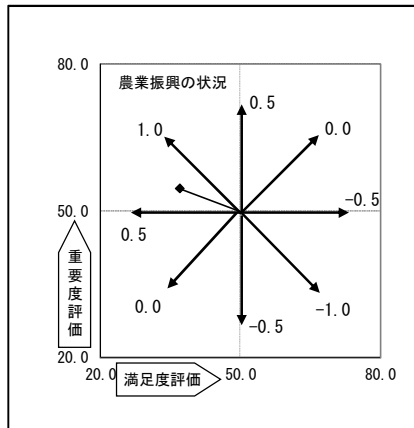
・ 優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「農業振興の状況」→ 満足度偏差値 36.9…、重要度偏差値 54.5…
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
例：「農業振興の状況」→ $13.80\dots \equiv \sqrt{(36.9-50)^2 + (54.5-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「農業振興の状況」→ 26.13 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。）。
例：「農業振興の状況」→ $0.7097 = (90-26.13) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「農業振興の状況」→ $9.80 = 13.80\dots \times 0.7097\dots$

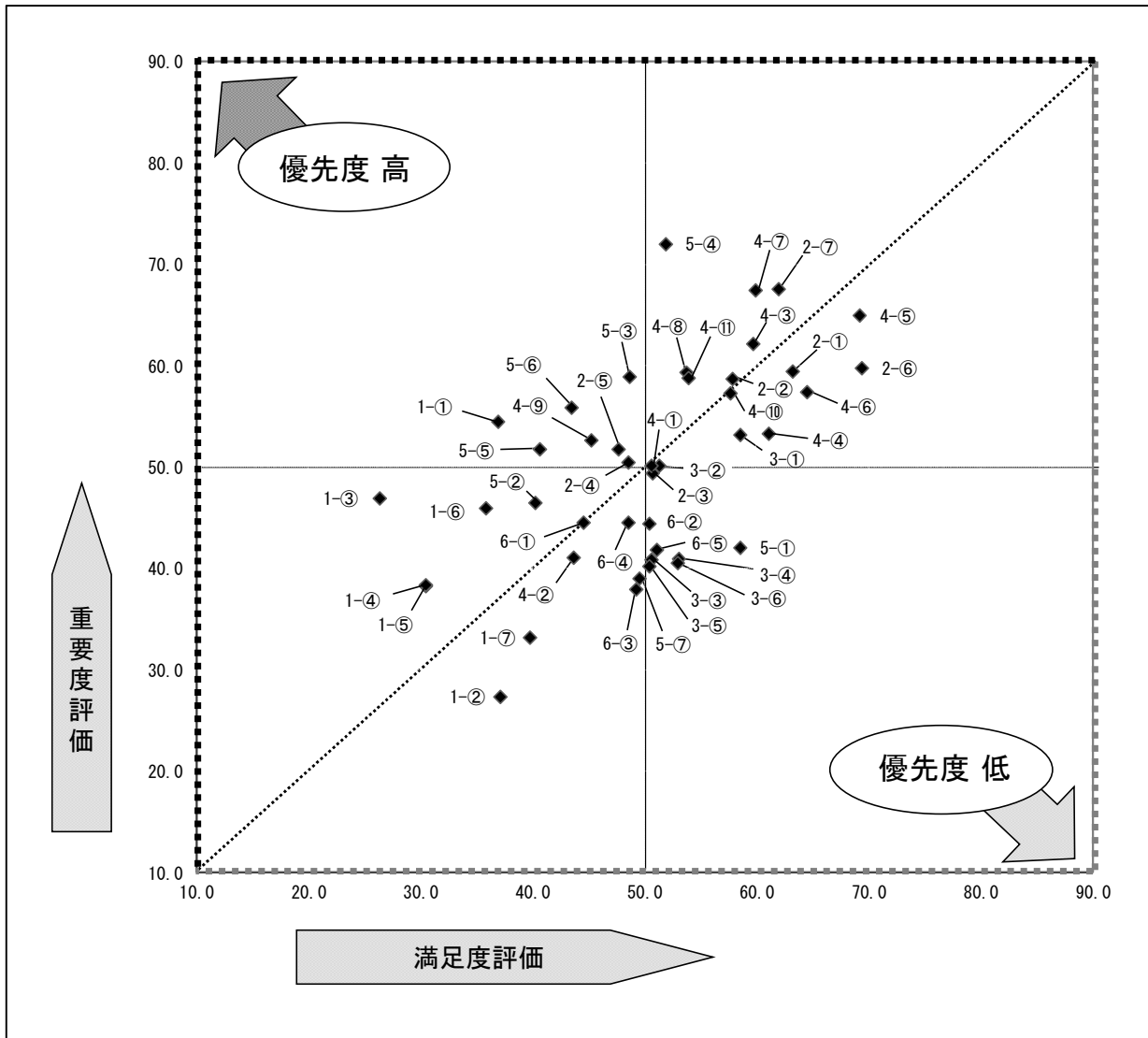
距離・角度



指数の設定



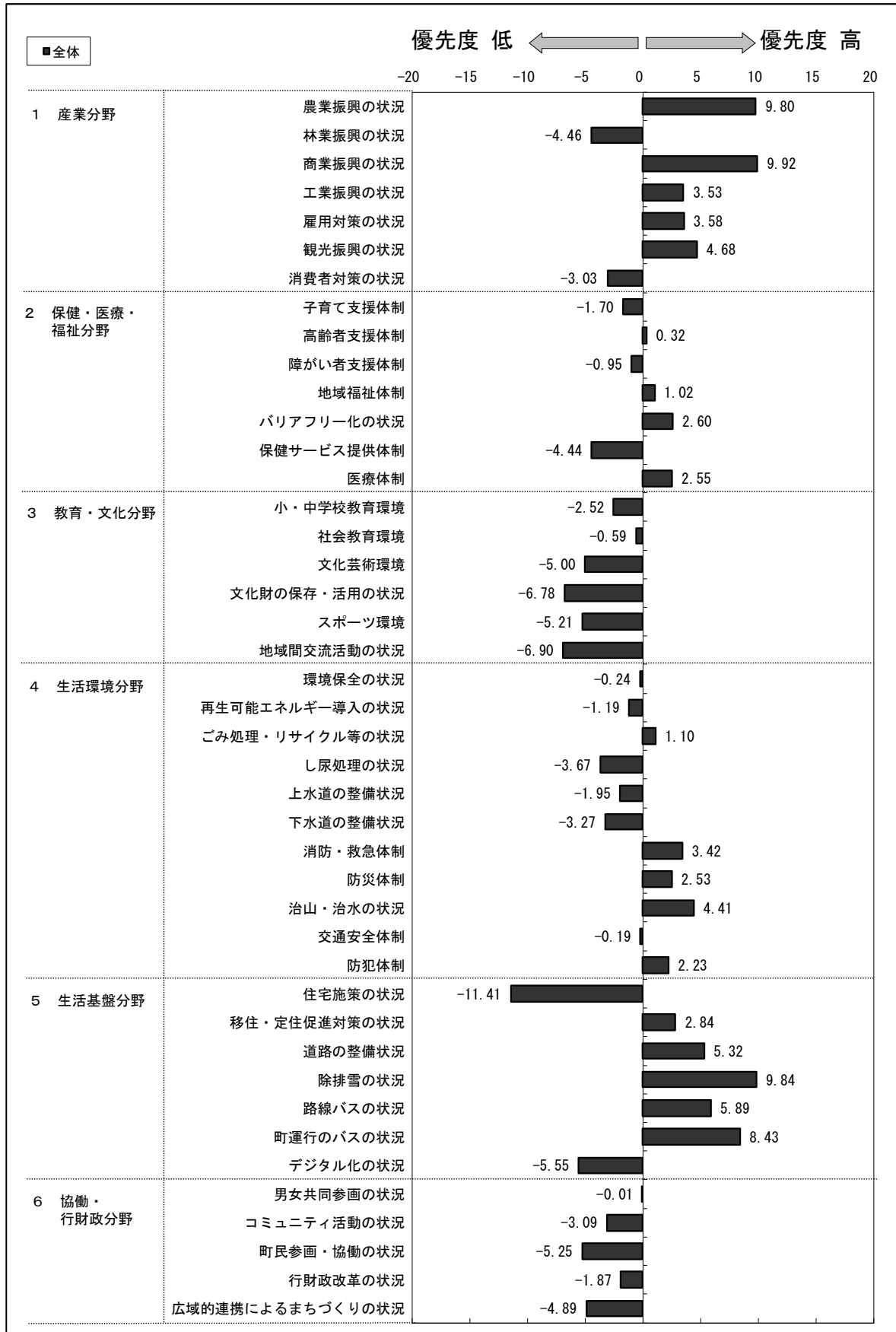
図表 11 参考：満足度と重要度の相関 [優先度] (散布図)



| 優先度高い | | 優先度低い | |
|------------------|--------------------|----------------------|--------------------|
| 1-3 商業振興の状況 | 2-7 医療体制 | 5-1 住宅施策の状況 | 6-2 コミュニティ活動の状況 |
| 5-4 除排雪の状況 | 4-8 防災体制 | 3-6 地域間交流活動の状況 | 1-7 消費者対策の状況 |
| 1-1 農業振興の状況 | 4-11 防犯体制 | 3-4 文化財の保存・活用の状況 | 3-1 小・中学校教育環境 |
| 5-6 町運行のバスの状況 | 4-3 ごみ処理・リサイクル等の状況 | 5-7 デジタル化の状況 | 4-5 上水道の整備状況 |
| 5-5 路線バスの状況 | 2-4 地域福祉体制 | 6-3 町民参画・協働の状況 | 6-4 行財政改革の状況 |
| 5-3 道路の整備状況 | 2-2 高齢者支援体制 | 3-5 スポーツ環境 | 2-1 子育て支援体制 |
| 1-6 観光振興の状況 | | 3-3 文化芸術環境 | 4-2 再生可能エネルギー導入の状況 |
| 4-9 治山・治水の状況 | | 6-5 広域的連携によるまちづくりの状況 | 2-3 障がい者支援体制 |
| 1-5 雇用対策の状況 | | 1-2 林業振興の状況 | 3-2 社会教育環境 |
| 1-4 工業振興の状況 | | 2-6 保健サービス提供体制 | 4-1 環境保全の状況 |
| 4-7 消防・救急体制 | | 4-4 し尿処理の状況 | 4-10 交通安全体制 |
| 5-2 移住・定住促進対策の状況 | | 4-6 下水道の整備状況 | 6-1 男女共同参画の状況 |
| 2-5 バリアフリー化の状況 | | | |

図表 12 参考：満足度と重要度の相関 [優先度] (全体)

(単位：評価点)



(4) 今後のまちづくりの特色

問6 あなたは、今後のまちづくりにおいて、浦臼町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

- 「田園空間のまち」と「健康・福祉のまち」が他を引き離して第1・2位を占め、続いて「子育て・教育のまち」の順。

今後のまちづくりの特色については、「田園空間のまち」(43.4%)と「健康・福祉のまち」(35.6%)が他を引き離して第1・2位を占めており、“農業・農村環境の維持・保全”と“保健・医療・福祉の充実”を望む人が特に多くなっています。

これら以外では、「子育て・教育のまち」(21.0%)、「快適住環境のまち」(17.0%)、「観光・交流のまち」(14.9%)、「町民参画・協働のまち」(12.8%)の順となっています。

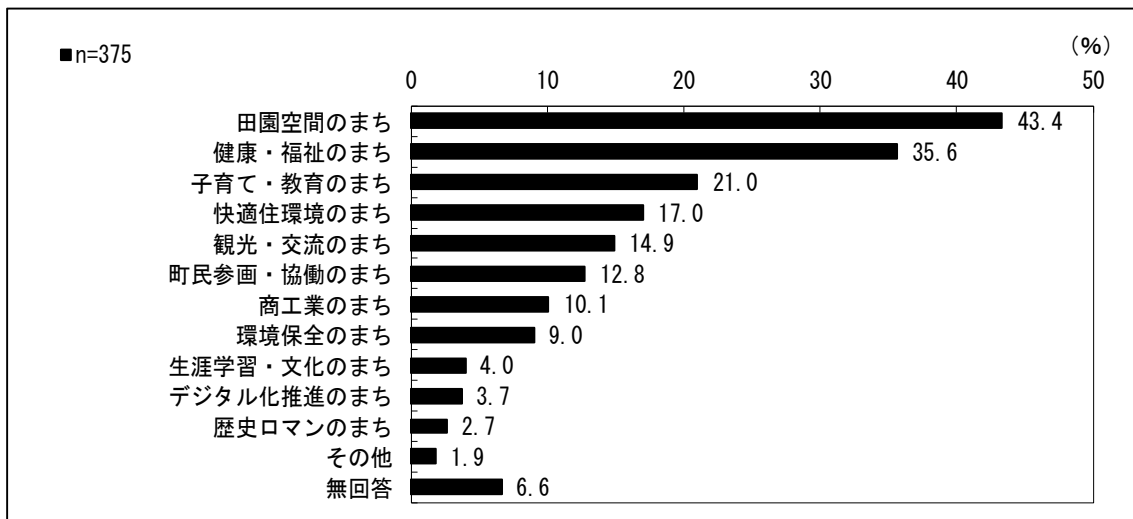
前回のアンケートと比較すると、上位8位は内容・順位ともに同様で、この10年間で、望むまちづくりの特色に変化はみられません。

属性別でみると、ほとんどの属性で町全体と同様に「田園空間のまち」が第1位となっていますが、30代では「子育て・教育のまち」(46.9%)が第1位(10・20代でも第2位)、40代と70歳以上では「健康・福祉のまち」(36.9%・46.6%。同率含む)が第1位で、若年層では“子育て環境・教育環境の充実”、40代や70歳以上では“保健・医療・福祉の充実”が最も重視されていることがうかがえます。[図表13・14参照]

【比較】

前回アンケート 「田園空間のまち」、「健康・福祉のまち」、「子育て・教育のまち」の順。

図表13 今後のまちづくりの特色（全体／複数回答）



図表 14 今後のまちづくりの特色
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|--------|--------------------------|-------------------|-------------------|
| 全体 | | 田園空間のまち 43.4 | 健康・福祉のまち 35.6 | 子育て・教育のまち 21.0 |
| 性別 | 男性 | 田園空間のまち 45.1 | 健康・福祉のまち 30.2 | 子育て・教育のまち 24.2 |
| | 女性 | 田園空間のまち 43.2 | 健康・福祉のまち 42.2 | 快適住環境のまち 19.5 |
| 年齢 | 10・20代 | 田園空間のまち 63.2 | 子育て・教育のまち 36.8 | 環境保全のまち 26.3 |
| | 30代 | 子育て・教育のまち 46.9 | 田園空間のまち 34.4 | 観光・交流のまち 21.9 |
| | 40代 | 健康・福祉のまち 36.9 | 田園空間のまち 35.4 | 子育て・教育のまち 32.3 |
| | 50代 | 田園空間のまち 43.5 | 健康・福祉のまち 32.6 | 快適住環境のまち 19.6 |
| | 60代 | 田園空間のまち 43.8 | 健康・福祉のまち 29.7 | 子育て・教育のまち 20.3 |
| | 70歳以上 | 田園空間のまち／健康・福祉のまち 46.6 | | 快適住環境のまち 17.1 |
| 居住地区 | 鶴沼地区 | 田園空間のまち 59.0 | 健康・福祉のまち 34.4 | 観光・交流のまち 16.4 |
| | 浦臼地区 | 田園空間のまち 38.0 | 健康・福祉のまち 34.7 | 子育て・教育のまち 23.3 |
| | 晩生内地区 | 田園空間のまち 49.3 | 健康・福祉のまち 41.8 | 子育て・教育のまち 25.4 |

